



한청통신

韓 青 通 信

2009 年 3 月号

今号のラインナップ：スノーフェスティバル 2009 報告 / スノーフェスティバル参加者感想文 /

情勢 NEWS / 支部紹介「日々是はんちゃんー北大阪支部」 / 全国活動報告 /

今後の予定 / 編集後記

スノーフェスティバル 2009 大盛況！



去る 2 月 6 日～8 日、私たちが在日韓国青年同盟は、岐阜県乗鞍高原で「第 45 回 韓青全国冬期講習会～スノーフェスティバル 2009～」を開催しました。

「統一新時代！民族とともに！祖国とともに！」をテーマに開催した講習会は、多数の同胞青年と、韓国国内からも韓国団体青年協議会（国内韓青）のゲスト参加があるなど、100 人を超える同胞青年が民族と祖国を全身で感じられるものでした。ここでは、今年も一段と大盛況となったスノーフェスティバルの模様をお伝えしたいと思います。

誰もが緊張していた初日ですが、愛知県本部によるテンションMAXのノレ指導などで、あっという間に緊張がほぐされました。その後に行われたゲレンデ企画では、大阪本部の若手パワーが大爆発！ゲレンデを走って、転んで、気がついたら各班のメンバーはすっかり打ち解けている様子でした。こうなると、スノーフェスティバルも楽しさ倍増ですね。

またスノーフェスティバルの醍醐味といえば、やはり祖国・民族を捉え直す“班別討論”です。講演や発題を受け、企画の各テーマへの共感や意見などが活発に飛び交い、時代にともなっている在日同胞が多様化するなかでも、同胞青年の変わらない悩みや解決されていない様々な問題に対して、熱っぽく語り合いました。（※参加者たちの熱い感想は、次頁から取り上げています。）

そしてメイン企画の「韓青文化マダン」は、今年もさらに“パワーアップ”されました。各本部の文化発表では、マダン劇（大阪）、サムルノリ（広島）、プクチュム（愛知、三重の男性）ソルチャンゴ（兵庫）、構成劇（東京）、アンサンブル（神奈川）、民族舞踊（愛知・三重の女性）、プンムル（京都）、また国内ゲストからも発表があり、会場から大喝さいを受けました。

また班別討論の内容を題材にした寸劇には、誰もがびっくりするほどの“役者ぶり”を発揮しながら、同胞青年が民族的に生きる意味や、祖国・民族との関わりを、楽しく、時には鋭い視点が込められていました。

閉会式で文世賢委員長は、「私たちの置かれている状況を、青年の生き活きとした力で切り開いていこう」と力強くあいさつし、参加者は再会を誓いあい、たくさんの元気をもらって各地域に帰って行きました。（明）

Snow Festival2009

韓青全国冬期講習会 感想文集



大盛況に終わったS F 2009。その興奮も冷めやらぬうちに、全国から、そしてなんと国内ゲストからも！アツイ感想文が編集部に届きました。どうぞごゆっくりご堪能ください。。



広島県本部 パク・ムヤ

今回でS Fの参加は2回目になりますが、去年とは違う心境で参加できました。初めはスノーボード目的だったのですが、たくさんの人との出会いや、内容の濃さに驚かされたのを覚えています。そして今年は、朝鮮半島の歴史や韓国の今、在日青年としてのあり方を学び、班討論での同世代・年上の方々の話はとても学ぶべき点が多く、つい聞き入ってしまうほどでした。

今回のS Fで学んだことを考えてみると、1世や2世の当時の在日としての気持ちの根底であったり、ルーツを持つことにどんな意識でいるのか、自分と向き合うことの大切さ、自分と向き合った上でこの先どのような決断をしていくか、そういった内容でした。今まで様々な偏見や差別を受けてきて、在日朝鮮人としての自覚や悩みが増えました。その経験も含めて討論をしてきました。周りの話もたくさん取り入れ、知識も見方も思考も変化してきました。韓青をはじめ色々な活動を通して、自分がどう「在日朝鮮人」を思っているか、生きていくのかを考えました。それは「在日朝鮮人」を背負っていくのではなく、抱いていくということ。「背負う」ということは前を向きにくく、どうしても下向きになってしまうのではないかと前を向くことで下を見ず、ポジティブに生きていけると考えました。色々なモノを抱え前向きに生きていく、それが自分の在日としての生き方になるのだと気付かせてくれたのは韓青であり、S Fであり、仲間たちだと思います。韓青広島からの参加は今回が最後になりましたが、これからは別の地でも韓青と関わっていきたいと思っています。

韓青で出会ってくれたみなさま、本当にありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願いします。S Fお疲れ様でした。

韓青大阪・東大阪南支部OB

丁 恒 臣

韓青東京・葛飾支部OB

徐 智栄子



神奈川県本部 キム・ソンホ

今回、SFに参加して、民族の仲間たちが集うことの素晴らしさ、そして民族＝韓青のどこまでも青く、深い純真さにふれることができました。個人的には10年ぶりのSF参加ということもあり、僕自身、期するものもありました。

この3日間は、支常委班に入れてもらうことになり、現在各地方で支部を守っている仲間たちと連日熱い討論を交わしました。それぞれが思うままに各支部の素晴らしさや問題点を語り合いました。その最中、僕はあることに気づきました。班員の全ての仲間の口から発せられるのは自分のことではなく、在日同胞青年たちについてのことばかりでした。同胞青年たちの話をしているときの班員の顔は、とても優しく、同時に力強くもあり、まさに家族のことを話しているようでした。

その光景を目の当たりにした時、僕の中でひとつの想いが確信に変わりました。

「ネリンサラーンー無償の愛」

僕が韓青に再び参加し始めてからの半年間、神奈川の地でなんとなく感じていた想い。うっすらと、漠然としていた感情が、その瞬間に解き放たれた気がしました。同胞青年に向けられるそのどこまでもあたたかく真摯なまなざし。韓青の魅力を一言で表すなら、この言葉しかないんじゃないかと思います。

歪んだ日本社会の中で、数えきれない程の痛みや哀しみを一身に受け、心の底から笑うことすらかなわなかった僕たち、在日青年が、それでも歯を食いしばって暗闇から抜け出そうとするとき、韓青は心からの笑顔で在日同胞青年を迎え入れてくれます。日々の生活の中で、居場所を求めてさまよっている在日青年は大勢いると思います。もし現在、苦しみ、苦しみの淵でもがいているのなら、真っ直ぐに前を向いて、輝かしい未来をともに創っていかようとしている同志たちがいます。僕たち、在日青年は複雑な環境下に生きています。しかし、だからこそ在日青年の仲間たちの苦しみに深く共鳴できるのだと思います。こんなに素晴らしい「家族」は、この日本社会では稀有な存在でしょう。

韓青の同志のみなさん！僕たちは日本社会でもっと堂々と胸を張って生きましょう！
真っ直ぐに伸ばした背筋が「出すぎた杭」となり、僕たち一人ひとりの解放へとつながっていくと思います。その日が来るまで、ともに闘っていきましょう！！！！

韓青大阪OB

高 銖 春

韓青兵庫OB

高 弘



三重県県本部 ソン・イルジン

初参加のため、若干の緊張と全国の同胞青年に会えるという興奮を抱えて、韓青の冬期講習会に参加しました。

初日、軽く食事を済ませて開会式が始まりました。ゲレンデで少し遊んだ後、われらが三重委員長から「民族的に生きる」という内容の講演を受けました。内容は自身の人生の経験を通して変化してきた在日青年としてのスタンス、家族の生と死を目の当たりにしたとき、己の中に生じた思いを、楽しく、そして熱く語っていただきました。この講演を聞いて衝撃を感じたのは私だけではないと思います。

2日目、韓統連の副議長が「在日同胞の未来に向けて」という講演をしてくださいました。今の日本の情勢、青年とはなんぞや？そして母国韓国の現在の動向を通して今現在われわれ在日同胞がおかれている状況、そしてしなければならないことを浮き彫りにして伝えてくれました。

そして、本当に楽しみにしていた「韓青文化マダン」です。各地方でこの日のために練習してきた民族楽器、踊り、歌、等々の発表会です。楽器がしたくて韓青に来たという人もいと聞きます。どの地方の出し物もすばらしいものでした。特に最後の京都のプンムルはそこにいる全員が度肝を抜かれたはずです。その流れで恒例の群舞へ。みんなが気持ちよさそうに踊りまくっていましたね。その興奮冷めぬまま班別討論へ。もうすっかり緊張も解け、しっかりとつつり腹を割って朝まで語り合えました。

あっという間に最終日です。実は私、ここである決意をさせてもらいました。支部の常任として今後いっそう活動に力を注いでいくという決意表明です。前々から決めていたことですが、今回のSFを通してより一層気持ちが高まりました。自分が支部常任を決意した理由は、去年1年通して先輩たちから受け継いできた熱い思い、在日青年としての誇り、後輩に対する無償の愛情を自分の代で止めてしまっただけではないという思いからだったのですが、今回のSFにはなんと参加者100人越えではないですか！しかも初参加者や、高校生や大学生といった若い参加者が非常に多かったのもあって、ああ自分もついに先輩になっていくのか。自分が率先して彼らを引っ張っていかなければ！という強い気持ちが生まれました。先輩から後輩に受け継がれてきた思いのバトンを途中で落とさないように、全力で、確実にゴールへ向かって走っていく、そんな新しい時代の担い手になっていきたいと思います。目指すところはみんな同じだと思います。今回のキャンプを機にめぐり合えた仲間たちとともに明るい在日同胞の未来を作っていきましょう！最後のそれぞれの思いを胸に惜しみながら各地方に帰っていく仲間たち。この3日間を一緒に過ごした仲間たちは一生の仲間です。この出会いをくれたSF、本当に楽しかったです。

来年もみんなで参加し、新しい感動をみんなで作ってあげたいと思います。



釜山青年会（国内韓青） ハン・ヨンヒ

はじめて、韓国の地を離れてみた。実は、初めて降りた関西空港は、不安として近づいてきた。私が知っている単語が一つもないからだ。言葉の壁というものがこんなにも大きいものとは！このように見知らぬところで私を後押しするのは、韓青の仲間たちと会えるというトキメキと期待感だ。在日韓青の仲間たちは、どんなところで集い、どんな話を交わし、どんな悩みを抱えて生きてるのか、また、どんな仲間たちがいるのか。

夜遅く、一人ひとり事務所に集まってくる。お互い初めて会ったというのに、とても明るくあいさつをし、物怖じすることなく言葉を交わす。同胞という同質感からなのか。在日韓青だからなのか。すぐに、みんな集まり、翌日にあるマダン劇の練習をするのだが、どんな内容なのか聞き取れなくても、どれほどまでに可愛かったか。みんな私の妹・弟みたいに思えて、お尻でも叩いてあげたいくらいだ。大阪本部の委員長が私たちのために作ってくれた豚キムチを美味しく食べ、バスに乗った。目を開けてみると、全世界が真っ白だった。まるで映画の中に入ったみたいだった。講堂で荷物を降ろして待っていると、ウリマルを一生懸命勉強している仲間たちがあいさつをしながら話かけてきた。みんな恥ずかしそうだったが、積極的だった。—これが韓青の仲間たちに対する私の第一印象だ。

初日に三重委員長の講演があり、在日韓青の仲間たちにとってもそうだっただろうが、私も多くのことを考えさせられた。自分の子どもの名前をつけるにも、自分の思いのまま民族名でつけようとする、大きな決意をしなければならないという現実—その現実の中に生きる私たちの同胞。ウリナラ（祖国）が自主権を持った国であったとしても、そうであっただろうか。そのような祖国の現実には再び心が痛み、その現実の中で生きていく同胞たちに申し訳なくて、一日も早く統一を早めなければと感じた。

そして、2日目の文化マダンでの感動。久々に感じる心が弾むマダンだった。自分たちの楽しみをすべて出したマダン、だから自然とオッケチュム（肩で踊る踊り）が出てきた。文化マダンを準備しようと、スキーもせずに班別発表（寸劇）の準備をしていた姿の中に、韓青の仲間たちの情熱と真心を感じた。そして、在日韓青の未来に、ほほえましくなった。そして、もしかしたら私たちが言葉を聞き取れなく疎外感を感じるのではと思ったのか、行事進行しながらも、国内韓青をもてなすために、さらに奔走してくださった事務局の方々の配慮に大きな感動を受けた。

最終日だ。3日しかない期間だったが、祖国愛と民族愛、そして同志愛を感じるのに不足のない時間だった。在日韓青の仲間たちとずっと一緒に過ごせない名残惜しさで、しきりに写真ばかり撮っていた。一瞬でももっと思い出にしたいくて、一人でも多く記憶したいくて。「生活することと、生きることは、別だ。生活するといって、生きることをあきらめてはいけない」という閉会式での中央委員長の言葉を心に刻んで一步を踏み出した。

祖国統一の願いをこめて、2009年2月26日

P S、みんな、逢いたい。ウリマルを一生懸命勉強して、釜山に遊びにきてね。



情勢NEWS

<「MB悪法」とは何か？>

日本ではまったくといっていいほど報道されていませんが、この間、韓国国会は混乱を極めています。混乱の原因は与党・ハンナラ党が、憲法に保障された国会議員の職務遂行権や、国会法上の手続きを無視して、李明博大統領が推進しようとする韓米FTA批准案をはじめ、人権侵害につながるなど批判の多い法案、いわゆる「MB悪法」をしゃにむに処理しようとしているからです。今回はこの「MB悪法」について解説していきます。（「MB」とはLee「M」yong「B」akの頭文字のこと）

①言論掌握法

放送法は財閥と朝鮮、中央、東亜日報の地上波放送掌握を全面的に許容し、新聞法は新聞と放送兼営禁止規定を削除することが核心内容です。つまり、比較的国民の側に立った報道、番組を提供してきた放送局を、政権寄りの巨大保守新聞が統制できるようにしようとするものです。

②集会の自由抹殺法

覆面やマスクなどの禁止を定めた集会とデモに関する法律（集示法）、集会参加者に対する集団訴訟をあおる不法行為集団訴訟法などです。これではカゼをひいてデモに参加しただけで罪になってしまいます。昨年の百万人のキャンドルデモに心底恐怖した政府・与党は、事前封鎖と報復をねらっているといえます。

③KCIA・国家安全企画部復活法

国家情報院の職務範囲を大幅に拡大するとした職権乱用や人権侵害の恐れのある「国家情報院法」や、第二の国家保安法になると言われる「テロ防止法」など、時代に逆行して朴正熙と全斗煥独裁時代のKCIA・国家安全企画部を生き返らせようとするものです。

④表現の自由抑圧法

ネット上のひぼう中傷被害を防ぐとして、告訴がなくても捜査機関の判断で直ちに強制捜査が可能にする「サイバー侮辱罪」を新設しようとしています。インターネットを通じた政府批判の声を根絶するとの意図があります。これもサイバー空間が大きな役割を果たしたキャンドルデモへの恐れと、報復だといえます。

⑤財閥特典法

「金融・産業分離緩和法案」（銀行法、持株会社法）は、財閥と大企業の銀行所有を防いできた堤防を一気に押し破るもので、金融と産業の分離原則に反します。99%の国民の民生とはなんの関係もなく、1%にもならない少数の財閥のために金融まで譲り渡す、現政権の本性があらわになった法案といえます。

⑥国会暴力防止特別法

野党の議場入場を阻止して法案を通過させるという独裁時代の手法に対して、野党側が議場への入場と、強行採決を阻止するために抵抗するしかありません。しかし、それをも法律で「悪」と規制しようとするものです。

法律が制定されれば、国民は法を守ることを「強制」されます。したがって、議論をつくされなければなりません。にもかかわらず、十分な議論もなしに多数党だとの理由だけで、すべての法案をほしいままに通過させることは、根本的に民主主義に反し、独裁時代への回帰と民主主義の破壊を意味します。

合意もなく力づくで通過させた法律は暴力です。政府・与党が拙速に処理しようとする悪法の成立を阻止することがきわめて重要になっているといえるでしょう。（承）

日々是はんちゃん

全国支部紹介

Vol.5 大阪府本部 北大阪支部

韓青通信をご覧のみなさまアンニョンハセヨ？大阪本部には、北大阪支部、生野北支部、布施支部の3支部あります。その中でも北大阪支部は、JR環状線、JR東西線、地下鉄、阪神と、交通のアクセスが便利で、大阪府下のさまざまな地域から盟員・受講生が集っています。今回は、そんな北大阪支部の紹介をさせていただきます。にぎやかな北大阪支部の様子を想像しながらご覧になってください。

☆ホンモノ志向のウリマル学習会

そんな北大阪支部には、今ボランティアでネイティブの留学生が来てくれています。文法をしっかり身に付けたい人には在日同胞の講師がつき、実践会話で実力を伸ばしたい人にはネイティブと一緒にフリートーキングなど、生徒に合わせた多様な授業をおこなっています。

そして、授業後にはお菓子を囲んでティーブレイク♪ 日本と韓国の文化の違いに話を咲かせたり、参加者の近況の話で盛り上がりつつあります。参加者の中に誕生日の人がいると、その週はサプライズパーティーと化します。ブレイカーが落ちた！と思ったら、ケーキの登場☆また、時にはお茶ではなく、居酒屋に行ってお酒を飲みながら交流を深めたりもします。お酒が入ると親しくなるのはなぜでしょうか？（笑）

☆みんなで「ラーポッキ」？



2月11日の水曜日は、ウリマル特別授業と称して、3支部合同で授業を行ないました。授業の内容は韓国料理作り♪ネイティブにウリマルで韓国料理の作り方を教えてもらい、みんなで作って食べるという、とっても楽しい企画です。

前回の特別授業では「タットリタン」を作りましたが、今回のレシピは「ラーポッキ」でした☆ トッポッキにラーメンやタンミョンが入っている、韓国では有名な食べ物です。その日は各支部のネイティブが来てくれ、各班に分かれて調理開始。力を合わせてチャッチャと作る班、ネイティブが教えながら全部作ってしまった班、なかなか出来上がらない班など、それぞれ特徴が出ました。出来上がった料理も、辛さが全然違い、みんなで味見しあいながらワイワイ楽しくラーポッキを食べました。

そんな愉快で楽しい北大阪支部にぜひ遊びに来てください♪いつでも明るい笑顔で待ってま～す（^ー^）

炭火焼肉・韓国酒家 ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛楊鳥～

〒108-0014 港区芝5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください

（各階40名様まで）

焼肉 晩 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝5-23-10
TEL & FAX 3452-0061

4月革命49周年記念！青年学生の集い

韓青では、今年度の実践運動の出発点として、「4月革命49周年記念！青年学生の集い」を各地協単位で開催します。そこでは、来年の組織結成50周年を見据え、4月革命と韓青結成の関わりを深めながら、現在の情勢を共有することで、4月革命の現代的意義を学び、韓青の役割を再確認する場としたいと思っています。多くの方のご参観をお待ちしています。

○当日内容：参加者からの意見表明

記念講演 「4月革命の現代的意義と韓青の役割」（仮）

パレード（街頭パフォーマンス）

交流会（野遊会）

その他



○各地域開催概要

【近畿地協】 4月12日（日）11時～ 京都府・部落解放センター

【中部地協】 4月19日（日）13時～ 桑名市・修徳公民館

【関東地協】 4月26日（日）13時～ 川崎市・産業振興会館

PICK UP!

学びの春がやってきた！

全国で開催！ 春期ウリマル教室開講式

＜2009年 春期開講式日程＞

地域	開催日程・場所
東京	5/10（日）日暮里ひろば館（全支部合同）
神奈川	5/13（水）横浜支部（川崎支部も合流）
愛知	5/1（金）愛知県本部
三重	5/13（水）四日市支部（桑名支部も合流）
京都	5/13（水）各支部（南・右京）で
大阪	5/13（水）各支部（北大阪・生野北・布施）で
兵庫	5/13（水）各支部（尼崎・西神戸）で
広島	随時募集中

韓青では、10代後半～20代の朝鮮半島にルーツを持つ青年を対象に韓国語教室を開催しています。韓国籍や朝鮮籍・日本籍など国籍は問いません。「朝鮮半島にルーツを持つ方」であれば、だれでも大歓迎です。もちろん、ダブルの方も大歓迎です。

授業は、受講生の実力に合わせたクラス編成をしていますので、初心者から経験者まで安心！アットホームな私たちの教室に、参加してみませんか？

全国の韓青ウリマル教室のお問い合わせはこちらへ→ **0120-734-101**（フリーダイヤル）

編・集・後・記



第5号、いかがでしたか？今回のスノーフェスティバルは、本当に活気あふれる講習会でした。講演・企画・そして各地の文化発表にいたるまで、すべての質が高かったと思います。今回は全体の司会をさせていただきましたが、100人を超える同胞青年たちのエネルギーを正面から受け止めて、パワーをたくさんもらった気がします。いよいよ春！花見の春、焼肉の春です（笑）。SFの成果をそのままに、これからも元気いっぱい進んでいきたいと思っています！（李）。